

平成24年度
千代田区立お茶の水幼稚園
幼稚園経営報告

平成25年3月
千代田区立お茶の水幼稚園

目 次

I	平成24年度千代田区立お茶の水幼稚園経営報告	P 1
II	目標と方策の評価 計画	P 3
III	目標と方策の評価 学校評価資料（平成24年度）	
I	あかるく げんきな子	P 5
II	なかやく あそぶ子	P 6
III	よくかんがえて やりぬく子	P 7

【参考資料】

1	保護者アンケート	P 1 2
2	自己（幼稚園）評価	P 1 3

I 平成24年度千代田区立お茶の水幼稚園 幼稚園経営計画

1 目指す幼稚園

- 子どもたちがよく遊びよく学び心身ともに健やかに育つ幼稚園。
- 保護者や地域も加わって園が生き生きと活気ある活動を展開する幼稚園。
- 子どもがよりよい幼稚園生活を送れるよう幼稚園運営を改善し発展する幼稚園。
* PDCAサイクルに沿ったOJTによる幼稚園運営

2 目指す幼児像

- あかるく げんきな子
- なかよく あそぶ子
- よくかんがえ やりぬく子

〔指導の重点〕

○思いやりの気持ちを育み、社会性や道徳性の芽生えを培うために、さまざまな人との交流や遊びの充実を図り、一人ひとりの個性を伸ばしながら、人とかかわる体験を深める。

〔指針〕 日常生活で幼児たちに伝え、心がけること

心に関する力「手と手(人と人)のつながり」「言葉のつながり」「心のつながり」という「3つのつながりを大切にする」ことと「自ら考えて行動すること、そして、そのために「あいさつ・返事・後始末をしっかりと行おう」ということを繰り返し話していく。

3 目標と方策の評価

(1) 計画 (P3)

(2) 学校評価資料 (P5)

目指す幼児像・目標の3領域における総括(まとめ)を次に記載する。

○印：成果 ●印：課題・改善

あかるく げんきな子【総括】

- 毎日戸外で行うマラソンや体操など、運動的な遊びに進んで参加し、体力・運動的な機能の向上が図られた。
- 運動遊びや体を動かす環境を工夫したことから、「やってみよう」「できるようになりたい」など挑戦しようとする意欲が育まれてきた。
- 様々な野菜を栽培することで、植物への興味・関心が芽生え、苦手な物も食べようとする気持ちが育った。
- 幼児の興味・関心をとらえながら、様々な戸外遊びの工夫・改善をして、意欲の向上及び体力の向上を図る。
- 幼児の挑戦しようとする意欲を高める環境づくりや援助の仕方を工夫する。

なかよく あそぶ子【総括】

- 自己を十分に発揮できるよう指導を工夫したことから、友達との遊びや学級全体の活動に喜んで参加したり、互いの考えを受け入れたりして遊びを進める態度が育ってきている。
- 異年齢や小学生とのかかわりを通して、自己発揮をしながら、相手のよさを見つけたり、憧れの気持ちをもったりして親しみを深めることができた。
- 話をしっかり聞く態度の育成を図る。
- 自己発揮には、個人差が見られる。教師との信頼関係を築き家庭との連携を深めながら、様々な場面で自己発揮し、相手を受け入れ認め合える関係づくりを進められるようにする。

よくかんがえ やりぬく子【総括】

- 先生や友達の話聞き、考えて行動する気持ちが育ってきている。
- 季節的行事や日本の伝統・文化に親しむ機会を計画的に設けたことから、目的や目あてをもって活動を進めようとする気持ちや意欲が見られるようになった。
- 身近な環境や遠足などでの直接体験や自然体験を豊かにすることで、困難なことに向かっていく気持ちや頑張る意欲が見られてきた。
- よく考えて行動する中で、自己の力を発揮できるよう、様々な体験を計画的に積み重ねるようにする。
- 友達に左右され行動したり、目的が十分にもてず途中であきらめたりする姿も見られることから、幼児が自ら考え、じっくりと最後まで取り組めるように、活動を精選したり、教師の援助を工夫したりする。

(3) 評価については、平成23年度の各評価を指標にして次の2つの評価を実施した。

○保護者へのアンケート【P12】

○自己（幼稚園）評価【P13】

※学校関係者（学校運営連絡会委員）による評価

3月8日に開催した学校・幼稚園運営連絡会の学校関係者（学校運営連絡会委員）による評価（評価が適切に行われたかどうか、学校・幼稚園運営の改善に向けた取り組みが適切かどうかを検証する評価）を行い、本学校経営報告の案を取り教育委員会に提出する。

4 平成25年度の教育課程主な改善点

- 「誕生会」を、保育のねらい（発達課題）を考え、1・2学期は3歳児と4・5歳児を分けて行い、3学期から一緒に行う。なお、保護者は4・5歳児の保護者の出席をお願いする。
- 12月の「思いで遠足（5歳児）」を、遠足の時期と親子という目的・内容から、5月の「親子遠足（全園児）」に変更する。なお、遠足はバスを使わず、現地集合、現地解散で計画する。
- 夏季休業中の「先生と遊ぼう」を、参加のしやすさと夏季休業中の行事（目的）ということから、「夏季プール」に変更する。
- 「こども劇場」を、気候や子どもの体調管理等を考え12月に変更する。
- 「園だより説明会」を、通常の保育活動を重視することから、「園生活等説明会」と改め、日数を減らして実施する。
- 日本の文化や季節感を味わうことをねらいに「子ども会」年間計画を見直した結果、クリスマスの集いは取りやめる。

Ⅱ 目標と方策の評価 計画

目標	中期的な目標	指導の重点とする方策	評価／成果の指標 ※基本となる指標（平成23年度保護者アンケート数値） ※◎○●◇は方策で、対応する評価をその後に記載。 （ア数字はアンケートの質問番号）
<p>あかるく げんきな子</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】 教育計画に記載</p>	<p>心身ともに健やかな幼児を育てるために、自分なりのめあてをもって自己を十分に発揮し、満足感や充実感が得られるよう環境を活かした遊びの充実を図る。</p>	<p>◎幼児一人ひとりが自分の力で行動することの充実感を味わえるよう、教師との信頼関係を基盤にして基本的な生活習慣を定着させ、遊びの充実を図る。（健康・人間関係）</p> <p>○体を動かす楽しさを味わい、多様な経験ができるように、3年間を見通した計画を基に運動遊びや体を動かす環境を工夫する。また、生活習慣・食・戸外遊びなどの健康や安全に対する意識を高めることができるように、小学校の栄養教諭・養護教諭・神田警察と連携し、健康・安全教育を行う。（健康）</p> <p>●幼児が主体的に遊びや生活を展開できるように、経験を広げる遊びや活動を計画的に組み入れる。また、幼児の経験を積み上げていけるよう備に応じた指導の工夫や保育室の環境整備、教材研究に努める。</p> <p>●進んで体を動かし、楽しさを味わえるように、校庭・公園・講堂のそれぞれの特徴を生かした遊びを意図的・計画的に行う。また、幼児の発達段階に即し、運動機能の発達を促す運動遊具の整備や遊びの工夫に努める。</p>	<p>◎基本的な生活習慣・遊びの充実について【資料1（ア1）】</p> <p>○健やかな幼児を育てるための環境の工夫について【資料2（ア6）】</p>
<p>なかよく あそぶ子</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】 教育計画に記載</p>	<p>思いやりの気持ちを育み、社会性や道徳性の芽生えを培うために、さまざまな人との交流や遊びの充実を図り、一人ひとりの個性を伸ばしながら、人とのかかわる体験を深める。</p>	<p>○友達と互いに認め合い、遊びを豊かに展開する力を育むために、学級での安定した生活を基盤にし、自己を十分に発揮できるよう指導を工夫する。また、より豊かなかかわりが経験できるよう、異年齢との交流、保育園や高齢者センター、併設小学校の全学年との互恵性のある交流の工夫を図る。（言葉・表現・人間関係）</p> <p>●人とのかかわりを豊かにし、親しみや思いやりの気持ちを育めるよう、幼稚園の異年齢グループを基盤にして小学校や保育園と年間計画に基づいた交流活動を実施する。職員同士が事前事後の話し合いを深め、連携を密にし、互恵性のある交流を工夫する。</p> <p>◇幼稚園、小学校の保護者の読み聞かせボランティアや専門性を生かした図書館司書による親子読書会を月2回実施し、幼児に豊かな情換を育むとともに、子育て支援の一環とする。</p>	<p>○豊かなかかわり・社会性や道徳性の芽生えについて【資料3（ア2）】</p> <p>○思いやりの心を育む交流活動について【資料4（ア7）】</p> <p>●互恵性のある交流を図るためのチーム保育について【資料5（ア5）】</p>
<p>よくかんがえ やりぬく子</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】 教育計画に記載</p>	<p>豊かな感性や表現力・知的好奇心を育むために、季節的行事や日本の伝統・文化に親しむ機会を設け興味や関心を高める。</p>	<p>○日本の伝統行事や芸術に親しみを持ち、四季の自然や身近な人々に愛情を感じる感性豊かな心を育むことができるように、日本の伝統・文化に触れる機会を設ける。幼児が主体的に取り組んでいけるよう日々の保育と関連させるとともに、保護者や地域の方の力を生かす。（環境・人間関係・表現）</p> <p>○知的好奇心や感動体験を味わえるように、身近な環境や遠足などでの直接体験や自然体験を豊かにする。また、資源や自然を大切にしようとする気持ちをもてるよう、千代田エコシステムの下に、リサイクルや節電などの環境教育を推進する。（環境）</p> <p>●日本の伝統的な文化や行事に触れ、繰り返し体験を積み重ねていくことで、幼児が自ら興味や関心をもって四季折々の生活の在り方や美しさを感じ取ることができるようにする。</p> <p>●自然の美しさや生命の尊さに気付き大切にする気持ちを育むために、おひさまガーデンと錦華公園の自然環境を、意図的・計画的に活用し、植物を育てる・収穫を喜ぶ・小動物に触れるなどの直接体験ができるようにする。</p>	<p>○豊かな感性や表現力・知的好奇心を育むことについて【資料6（ア3）】</p> <p>○知的好奇心をかきたて感動体験を味わう遠足などの園外活動について【資料7（ア8）】</p> <p>○環境教育の推進について【資料8（ア10）】</p> <p>●豊かな心を育む伝統的な文化や行事について【資料9（ア9）】</p> <p>●自然の美しさや生命の尊さに気付き大切にする気持ちを育む活動について【資料10（ア11）】</p>

開かれた園運営	<p>○幼稚園運営連絡会や学校評価（自己評価・学校関係者評価）により成果や課題を明らかにし、教育課程の改善に生かし、家庭や地域社会の期待に応える幼稚園経営に努める。</p> <p>◇地域の中の幼稚園としての教育の充実が図れるように、幼稚園保育公開（年2回）・幼稚園行事への保護者の参加・参画などを実施する。また、保護者の幼稚園教育への理解が深められるよう、園だより配布説明会や保育参観後の懇談会、個人面談、学級だよりなどで、教育内容や幼児の変容などを伝える工夫をする。</p> <p>◇保護者が子育ての喜びを感じられるよう、情報発信や園児の預かり（わくわくタイム）、未就園児の会（ひよこタイム）、発達支援アドバイザーやスクールカウンセラーとの連携、未就園児や保護者への施設や遊具の開放を実施すると共に、保護者同士の関係づくりや親育ちのための支援を行う。</p>	<p>◇子育て関すること【資料11（ア12, 13）】</p> <p>◇幼稚園理解に関すること【資料12（ア15）】</p>
特別支援教育の充実	<p>◇発達支援アドバイザーやスクールカウンセラーと連携をとり、全職員が幼児を多面的に理解し、個に応じた指導を行えるよう研修を深め指導に生かす。</p>	
安全教育の充実	<p>◇幼児が安心して生活できるよう、毎月の安全指導・避難訓練・安全点検、年3回の不審者対策訓練などを実施する。東日本大震災を受け、防災マニュアルを見直し、保護者等関係諸機関との連携を図りながら、多様な状況を想定した訓練を繰り返し行い、安全・事故防止対策を強化する。</p>	<p>◇安全指導等に関すること【資料13（ア14）】</p>
園内研究	<p>研究主題「たくましい幼児の育成」</p> <p>幼児の心身のたくましさを育むために運動遊びを通して研究を進める。</p>	

Ⅲ 目標と方策の評価 幼稚園評価資料（平成24年度）

○集計は全学年・学年別で掲載する。

○グラフの値は人数で示している。

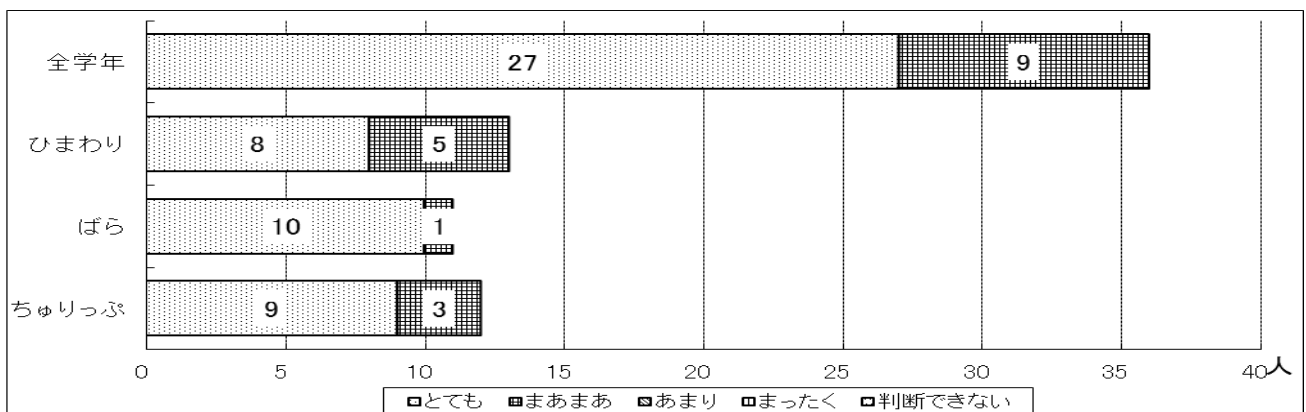
○グラフは「とても」「まあまあ」「あまり」「まったく」「判断できない」の項目順に表示するが、回答数が0の場合は数字を省略する。ただし、回答に「判断できない」がある場合は全ての項目を表示している。同様に「判断できない」がなく、「まったく」に回答がある場合は、「とても」「まあまあ」「あまり」を表示している。

I あかるく げんきな子

1 目標と方策に関する調査（保護者アンケートから）

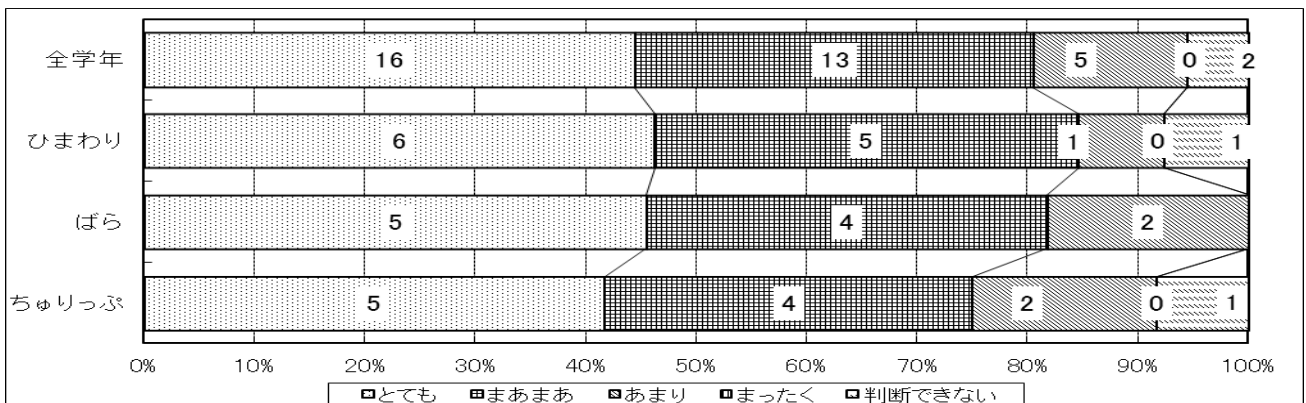
【資料1】 基本的生活習慣・遊びの充実について

○ 子どもたちは、健康や生活に必要な習慣を身に付けたり、体を動かすことを楽しんでいたりしていると思いますか。



【資料2】 健やかな幼児を育てるための環境の工夫について

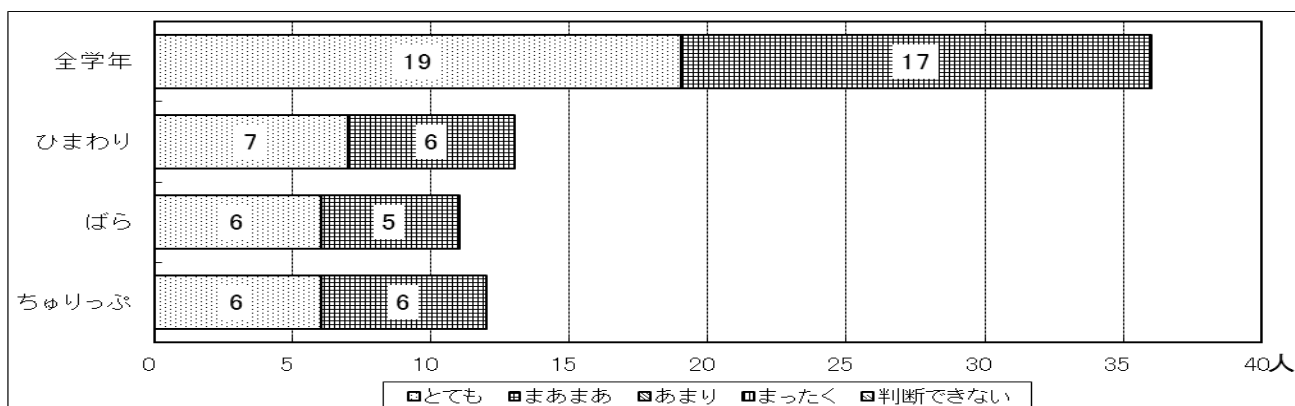
○ 保育室、公園、校庭、講堂の特徴を生かし、運動遊びや体を動かす環境の工夫が行われていると思いますか。



Ⅱ なかよく あそぶ子

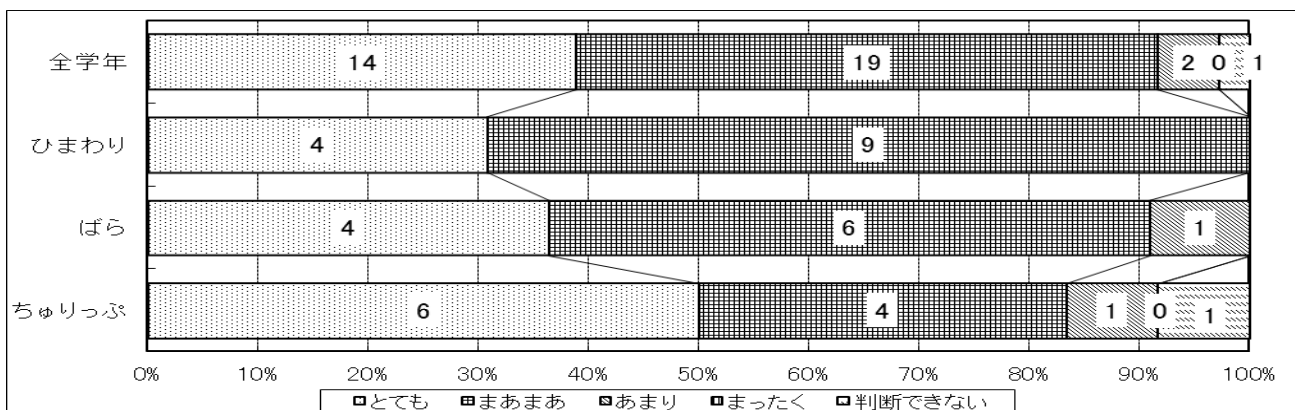
【資料3】豊かなかかわり・社会性や道徳性の芽生えについて

○ 子どもたちは、先生や友達とかかわりをもちながら、またルールや約束を守って遊んだり生活したりしていると思いますか。



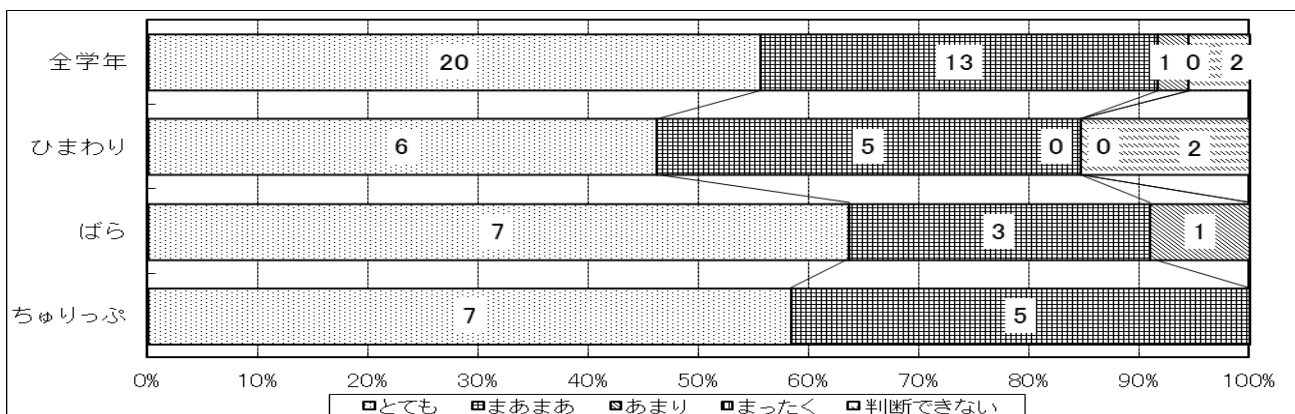
【資料4】思いやりの心を育む交流活動について

○ 保育園や小学校、地域との交流活動は、人との関わりを豊かにし、思いやりなどの心を育てていると思いますか。



【資料5】互恵性のある交流を図るためのチーム保育について

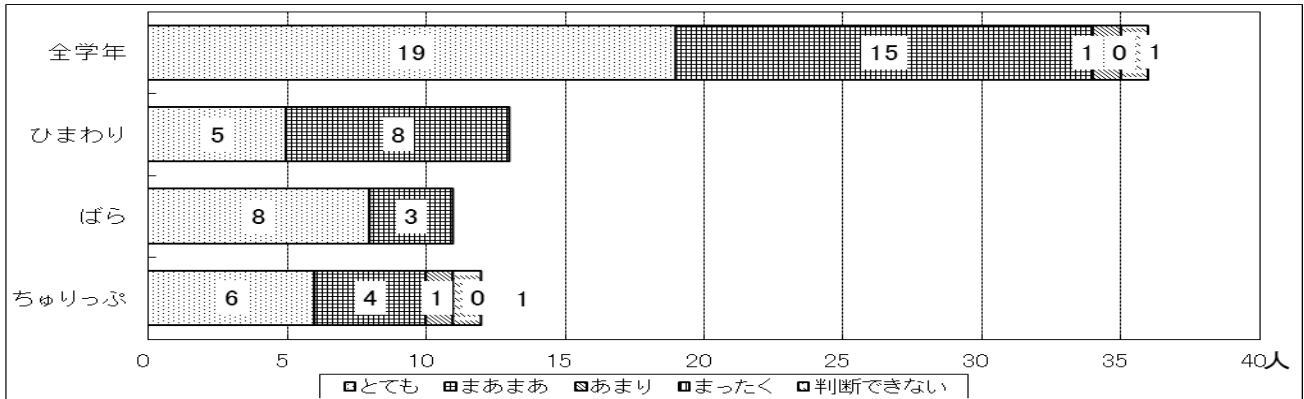
○ 全教職員が連携を密にし、チーム保育を実践していると思いますか。



Ⅲ よくかんがえて やりぬく子

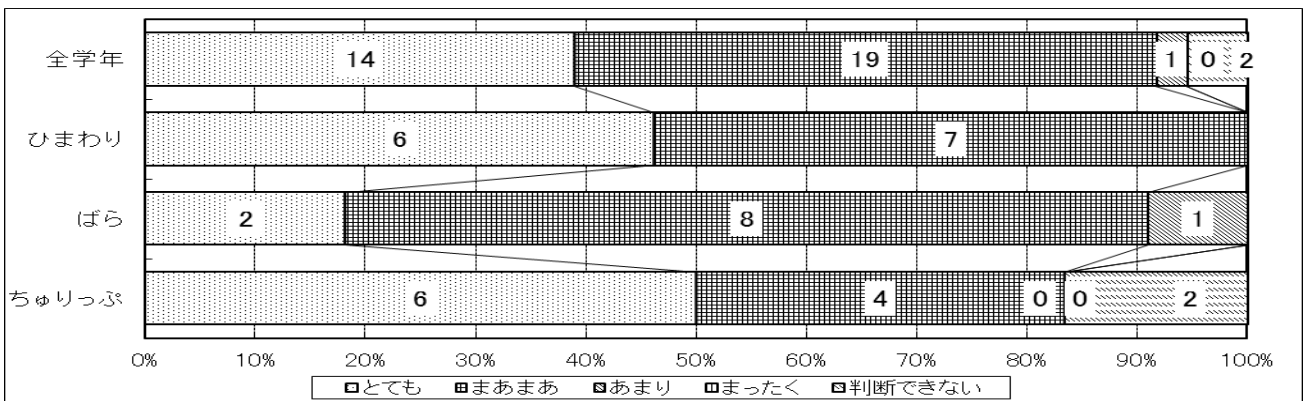
【資料6】豊かな感性や表現力・知的好奇心を育むことについて

○ 子どもたちは、様々なことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりして達成感を味わうことができていると思いますか。



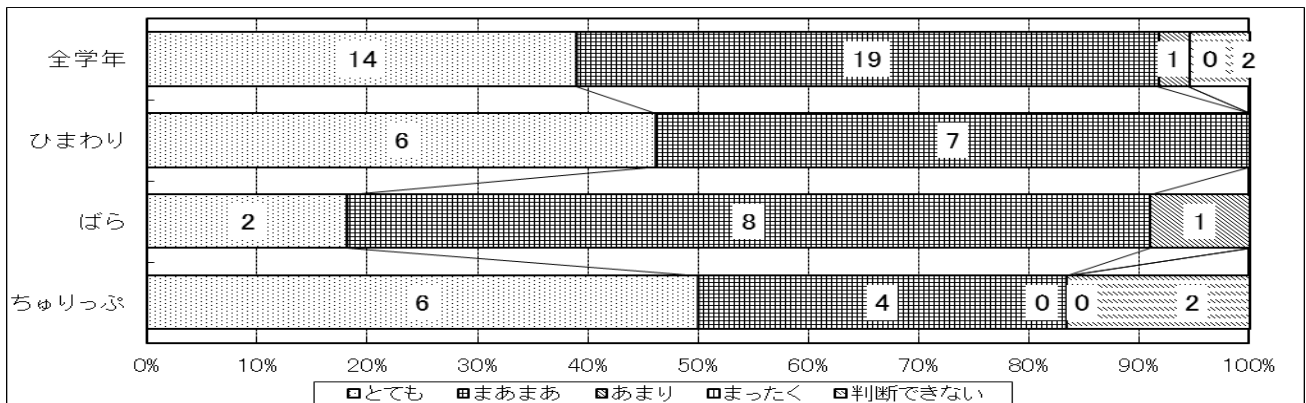
【資料7】知的好奇心をかきたて感動体験を味わう遠足などの園外活動について

○ 遠足などの園外活動は、様々なふれあいや体験によって、マナーを守ろうとする心、表現力、知的好奇心を育てていると思いますか。



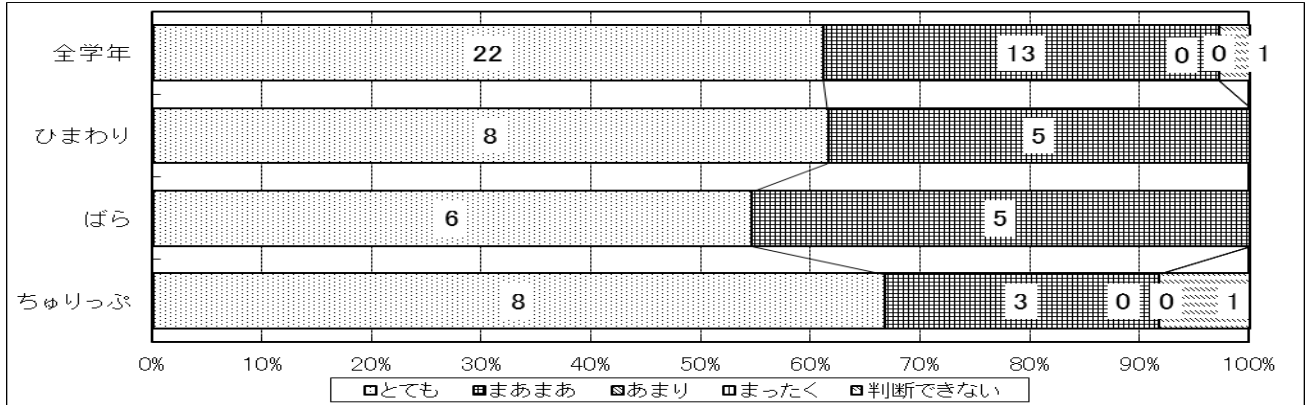
【資料8】環境教育の推進について

○ 幼稚園が環境整備やリサイクル活動に取り組むことで、子どもたちの環境を大切にしている気持ちを培っていると思いますか。



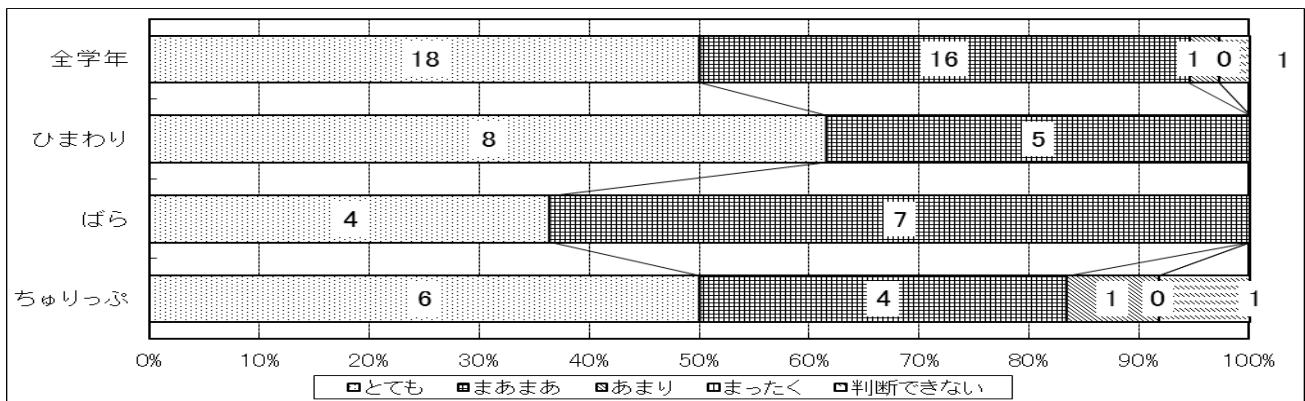
【資料9】豊かな心を育む伝統的な文化や行事について

○「こどもの日」などの年中行事やお茶会などの行事は、豊かな心を育んでいると思いますか。



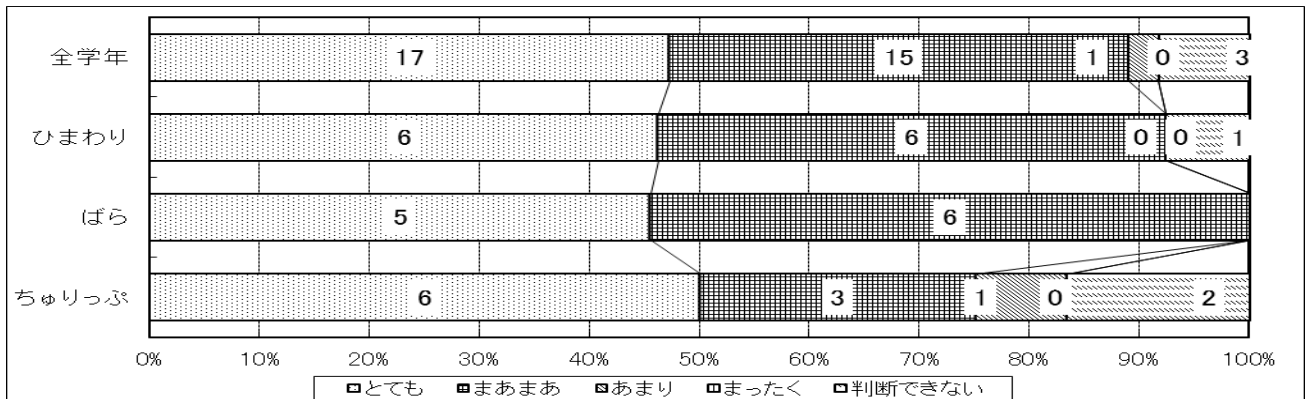
【資料10】自然の美しさや生命の尊さに気付き大切にする気持ちを育む活動について

○ 錦華公園の環境活用、園での栽培、飼育などの活動によって、自然や生き物に親しみ、命を大切にする気持ちを培っていると思いますか。

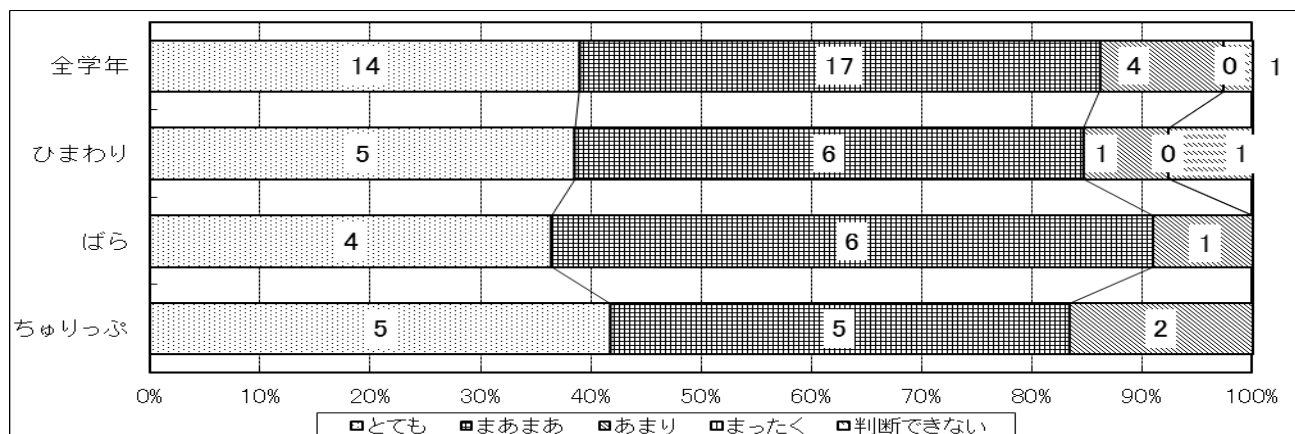


【資料11】子育て関すること

〔1〕幼稚園は子どもや保護者の話を聞くなど、適切に子育て相談に取り組み、必要な対応をしていると思いますか。



〔2〕保護者参加行事や行事運営の協力など、子どもたちの園生活の充実につながり、園教育の理解を深める機会となっていますか。

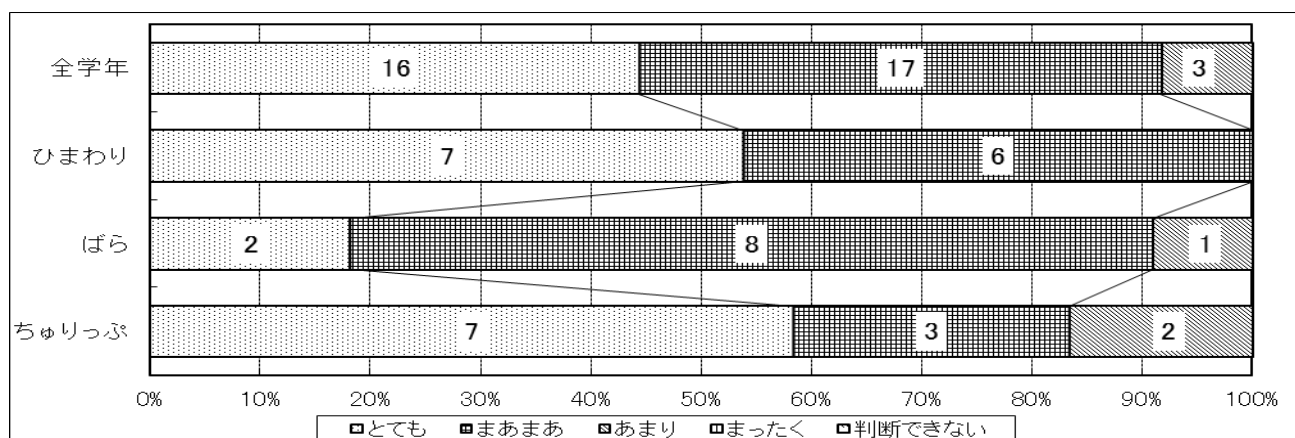


《保護者意見》

- 保護者参加行事を増やしてほしい。
- 保護者の負担が大きすぎるように思う。参加する日をもう少し減らしてほしい。(2人)
(「瀬戸ちゃんとあそぼう」や「園だより説明会」など)
- 「瀬戸ちゃんと遊ぼう」や「お箸の正しいマナーとお箸作り」は良い行事と思うが、保護者の参加がほぼ強制であり、年間行事に予定されていない突然の行事なので苦しかった。
- 保育時間が変更になる日もできるだけ年間予定表に載せてほしい。
- 12月は保護者参加行事が多く、保護者の負担が大きすぎる。
- 12月は各校園の受験シーズンにあたり、受験に関係する人は親子ともども体調管理に神経を使っているのに、なぜ餅つきや思い出遠足などの屋外の行事をあえてこの時期にいれるのか？

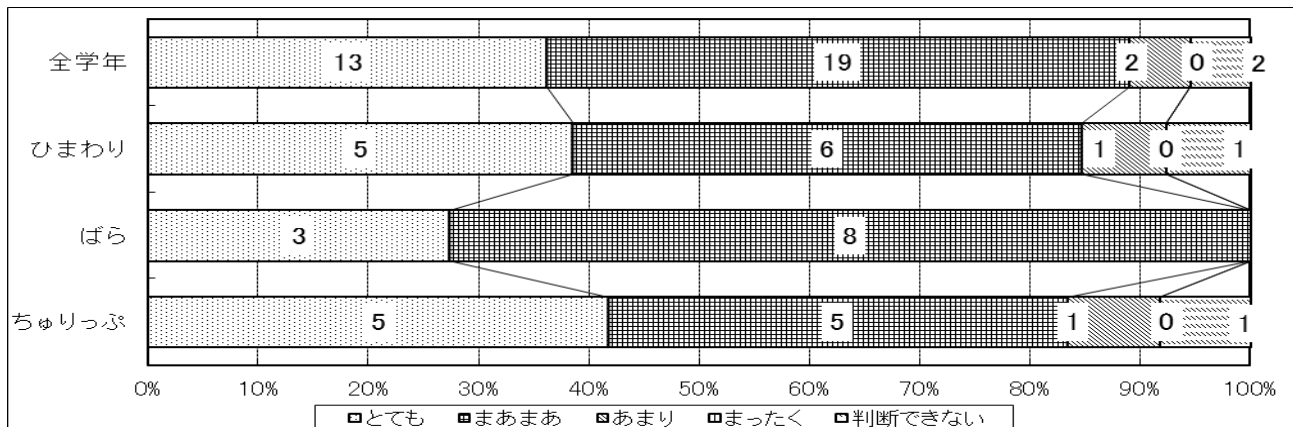
【資料12】幼稚園理解に関すること

○ 幼稚園の情報や様子が伝えられていると思いますか。



【資料13】安全指導等に関すること

○ 幼稚園は危険防止、災害への対応など、安全指導（教育）を含め適切に行っていると思いますか。



平成25年3月

千代田区立お茶の水幼稚園

参 考 資 料

- 1 保護者アンケート
- 2 自己（幼稚園）主な評価（改善点）

1 保護者アンケート

質問について、当てはまる回答欄の○数字を、黒の油性・水性ペンでぬりつぶしてください。

_____組 保護者 ←組をご記入ください。

	質 問	回 答
1	子どもたちは、健康や生活に必要な習慣を身に付けたり、体を動かすことを楽しんだりしていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
2	子どもたちは、先生や友達とかかわりをもちながら、またルールや約束を守って遊んだり生活したりしていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
3	子どもたちは、様々なことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりして達成感を味わうことができていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
4	幼稚園は、子どもを理解して指導していると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
5	全教職員が連携を密にし、チーム保育を実践していると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
6	保育室、公園、校庭、講堂の特徴を生かし、運動遊びや体を動かす環境の工夫が行われていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
7	保育園や小学校、地域との交流活動は、人との関わりを豊かにし、思いやりなどの心を育てていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
8	遠足などの園外活動は、様々なふれあいや体験によって、マナーを守ろうとする心、表現力、知的好奇心を育てていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
9	「こどもの日」などの年中行事やお茶会などの行事は、豊かな心を育てていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
10	幼稚園が環境整備やリサイクル活動に取り組むことで、子どもたちの環境を大切にすることを培っていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
11	錦華公園の環境活用、園での栽培、飼育などの活動によって、自然や生き物に親しみ、命を大切にすることを培っていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
12	幼稚園は子どもや保護者の話を聞くなど、適切に子育て相談に取り組み、必要な対応をしていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
13	保護者参加行事や行事運営の協力など、子どもたちの園生活の充実につながり、園教育の理解を深める機会となっていますか。	① ② ③ ④ ⑤
14	幼稚園は危険防止、災害への対応など、安全指導（教育）を含め適切に行っていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
15	幼稚園の情報や様子が伝えられていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤

2 自己（幼稚園）主な評価（改善点）

評価項目	課題
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かす場としての校庭の活用が十分にできなかった。割当時間や昼食後の時間を保育の流れの中うまく組み込めなかった。 ○環境教育として節電、節水の取り組みはできたが、リサイクル活動は園内であまり実施できなかった。
行事等	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの行事に3歳児も4・5歳児と同様に参加することが多い。発達を考えると負担になっているものもある。そのことから行事本来のねらいを達成が難しくなることもある。各行事の在り方、計画を改善する。 [遠足] <ul style="list-style-type: none"> ○3歳児の実態として、5月から遠足に参加するのは厳しい。 ○12月の5歳児のみの親子の思い出遠足は、寒い時期で目的地の選択が難しい。また、もちつきなどの行事と近く改善が必要。 [誕生会] <ul style="list-style-type: none"> ○集団生活を始めたばかりの3歳児が、短時間であろうとも一定の時間の集会に臨むのは難しい。集いのねらいを考え改善する。 [わくわく縁日] <ul style="list-style-type: none"> ○小学生全学年参加はとても混雑してしまい、危険でもあるので、交流内容を見直す。 [クリスマス会] <ul style="list-style-type: none"> ○伝統行事とは異なり、前後の行事の関係もあるので全体の行事計画の中で見直す。 [カレー作り] <ul style="list-style-type: none"> ○わくわく縁日や栽培物の収穫のタイミングから時期を考える。
施設・設備	○校庭（小学校）を有効に活用するため、遊び方を工夫し、運動遊具を見直す。
避難訓練	○より現実的なことを考えて実施案を見直していくことが必要。
ふれあいスポーツデー	○幼児管理（安全等）を考えると、在り方について改善することが必要。
家庭との連携	○保護者参加型の行事が多いので、ねらいや時期などから見直す。
教員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模園における良さに基づく研修を進めるとともに、日々の連携を密にしたチーム保育を充実する。 ○小学校との互恵性のある交流を工夫する。